

令和2年12月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者 11名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
1	1 ごみの最終処分場について 2 県立がんセンター、東北労災病院、仙台赤十字病院の連携・統合について	16番 小野寺 美穂 (1) 用地選定の進捗状況について伺う。 (2) 亙理名取共立衛生処理組合と施設方式などの内容も含めどのように協議しているのか。 (3) 詳細な計画及びスケジュールについて明らかにすべき。 (1) 現在市として捉えている実情について伺う。 (2) 3病院の連携・統合の内容についてどう理解して、誘致を進めているのか。 (3) 病床削減となり得る3病院統合には反対すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
2	1 重層的支援体制整備について 2 マイナンバー制度について	15番 菊地 忍 (1) 介護、障害、子ども及び困窮分野における相談支援事業を一体として実施する「包括的相談支援事業」に取り組むべき。 (2) 「地域づくり事業」を一体として実施し、地域住民が地域社会に参加する機会を確保するための支援や地域生活課題の発生の防止と解決に係る体制の整備、地域住民相互の交流を行う拠点の開設に取り組むべき。 (1) 職員の取得促進や出張申請の推進などマイナンバーカード普及への取組を強化すべき。 (2) マイナポータルの「ぴったりサービス」を積極的に活用しオンライン申請を推進すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
3	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 名取市自死対策計画について	3番 笹森 波 (1) 市内小中義務教育学校の水道蛇口を非接触型にすべき。 (2) 新型コロナウイルスに感染し自宅で療養する方への生活物資を支援すべき。 (1) 本市の自死の現状についてどのように捉えているか。 (2) 名取市自死対策計画の3つの重点施策の進捗について伺う。 (3) 学校におけるSOSの出し方に関する教育の取組について伺う。 (4) 地域、行政、関係機関との連携を図り「生きることの包括的な支援＝自死対策」の認識を強化し、相談しやすい環境づくりに努めるべき。	教育長 市 長 市 長 市 長 教育長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
4	<p>1 交通安全のための施策について</p> <p>2 約3年間にわたる水道料金誤請求の件について</p>	<p style="text-align: center;">10番 吉田 良</p> <p>(1) 第10次名取市交通安全計画に基づく施策の主な内容及びその効果、並びに次期計画において見直すべき点をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) J A F が実施する「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」で、宮城県は今年、47都道府県中最下位であった。このことについて宮城県の一自治体としてどう捉えているのか伺う。</p> <p>(3) 名取市交通安全計画の第1章第3節4(1)に、警察機関へ指導取締り等を要請する内容が3項目明記されているが、計画期間中に信号機のない横断歩道における歩行者優先について取締り等を要請した実績はあるのか伺う。</p> <p>(4) J A F 熊本支部や佐賀支部は、後続車に対して横断歩道を横断する歩行者がいる場合は一時停止をアピールする啓発ステッカーの貼付けを推進している。本市も県警や関係機関等と連携の上、啓発ステッカーを作成し普及を図ってはどうか。</p> <p>(5) 市役所をはじめ公共施設において、駐車場内での歩行者優先の走行を啓発すべき。</p> <p>(6) 児童生徒に対する交通安全教育において、信号機のない横断歩道を横断する際の心得をどのように指導しているのか伺う。</p> <p>(7) 現在の児童生徒も将来は運転者になり得ることを念頭に置いた交通安全教育を実施すべき。</p> <p>(1) 水道使用者2者に対し、平成29年11月の水道メーター交換以後、料金請求額を取り違えていたことが今年10月に判明した。この件について原因、判明の経緯とその後の対応を伺う。</p> <p>(2) 遡及請求分について、改正前の民法第173条第1号の規定により、2年間行使しなかった債権が時効により消滅する取扱いを検討しなかったのか伺う。</p> <p>(3) 再発防止に努めるとともに、想定外の事態に対する危機管理能力を高めるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長 教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
5	<p>1 ICT教育の推進と課題について</p> <p>2 都市計画道路植松田高線開通に伴う周辺への影響について</p>	<p style="text-align: right;">13番 佐々木 哲男</p> <p>(1)令和2年度におけるICT教育に向けたハード面、ソフト面の対応状況及び具体的な授業の開始時期等について伺う。</p> <p>(2)ICTの導入による教育現場の取組次第で、学力格差が生まれると懸念されている。教育委員会のリーダーシップにより、学力格差や学校間格差を生じさせないための教員等の指導及び家庭間格差を生じさせないための対応を徹底すべき。</p> <p>(3)「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」における留意事項について、該当事項の改善を計画性をもって推進すべき。</p> <p>(1)県主体で工事中の都市計画道路植松田高線・小山道路改築事業の開通に向けた進捗状況について伺う。</p> <p>(2)都市計画道路植松田高線と県道愛島名取線が接続されることにより、これまで以上の交通量が見込まれる。飯野坂・植松地区を含め沿線住民に及ぼす影響をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(3)接続により必要となる周辺住民への安全対策、特に生活道路及び、児童生徒の通学路の安全対策について、供用開始前に、県並びに関係機関と十分協議し対策を講ずるべき。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
6	<p>1 宮城県立がんセンター、東北労災病院及び仙台赤十字病院の連携・統合について</p> <p>2 農林水産業の振興について</p>	<p style="text-align: right;">2番 熊谷 克彦</p> <p>(1)病院誘致及び県立がんセンター存続に向けての取組経過について伺う。</p> <p>(2)今後とも名亙2市2町及び県南4市9町と連携して取り組むべき。</p> <p>(1)学校給食における地場産品の利用状況について伺う。</p> <p>(2)農林水産業関係の予算で、生産者及び農協等と連携の上、年に数回程度、学校給食に地場産品を提供し、児童生徒に地場産品の周知を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p>	
7	<p>1 閑上地区と北釜地区での自転車利用者の増加と総合的な交通安全対策について</p>	<p style="text-align: right;">8番 齋 浩美</p> <p>(1)第2次防御ラインの開通で自転車利用者が増加している。北釜防災公園、ゆりあげ港朝市、震災メモリアル公園などの主要な場所にスポーツ自転車に対応した自転車置場を整備すべき。</p> <p>(2)第2次防御ラインが開通したが、さらなる交通安全対策を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 株式会社スプリントと関連法人の破産による財政への影響と、その後の対応について	(1)株式会社スプリントと関連する法人が本年7月に破産した。該当する補助金や負担金等の返還額は幾らになるのか。また、法人から返還される見通しはあるのか。 (2)本市も含めた11の首長の連名で、本年1月15日付で厚生労働省に対し「指定障害福祉サービス事業者等の不正防止等を求める要望書」が提出されている。その後の状況を調査したが、要望書が検討されていないことが濃厚である。関係する首長と連携し、厚生労働省に対し早急に検討し回答することを強く求めるべき。	市 長 市 長	
	3 激甚化する災害への備えとして、災害廃棄物問題への取組について	(1)令和元年10月の台風第19号で稲わらが大量に流出したが、最終的な処理量と処理コスト、また、現状どこまで処理されたのか伺う。 (2)東日本大震災や台風第19号からの教訓と、激甚化する災害への備えとして、災害廃棄物処理計画の策定を急ぐべき。	市 長 市 長	
8	1 自然とふれあえる場と機会の提供について	7番 大久保 主計 (1)高館山自然レクリエーション施設のナラ枯れ対策の推進と野外炊事施設の復旧を図り安心して憩える場の再生を図るべき。 (2)樽水ダムB地区公園について、キャンプができるよう整備し、トイレを改修するなど気持ちよく憩える場を増やすべき。 (3)第六次長期総合計画に掲げる「自然とふれあえる場と機会の提供」を実現するため、広く市民、河川関係団体等に呼びかけ市民との協働で取り組むよう進めるべき。	市 長 市 長 市 長	
	2 鳥獣被害対策について	(1)鳥獣被害の現状と課題について伺う。 (2)鳥獣被害対策として緩衝帯の整備にも取り組み、総合的な施策を推進すべき。 (3)鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減を図り、併せて育成支援を強化すべき。	市 長 市 長 市 長	
9	1 産後ケアの取組について	9番 菅原 和子 (1)産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため産婦健康診査事業である産後2週間、1か月の健康診査に助成金を支給すべき。 (2)短期入所事業や通所事業に取り組むべき。	市 長 市 長	
	2 幼児の目の異常の早期発見について	(1)健診における目の異常の発見率を伺う。 (2)視力検査においてフォトスクリーナー等による屈折検査を導入すべき。	市 長 市 長	
	3 保育所の事故防止について	(1)ゼロ歳児の昼寝時の死亡事故を防ぐため、うつ伏せ寝を自動感知する機器を導入すべき。	市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
10	1 避難所運営における防災体制の強化について	<p style="text-align: right;">12番 大友 康信</p> (1)第二中学校で開催された総合防災学習講演会についてどのように評価されているのか伺う。 (2)市内の全ての小中義務教育学校で総合防災学習講演会を開催すべき。 (3)避難所の運営に児童生徒の協力は非常に有効であり必要である。避難所運営マニュアルに児童生徒が協力できる役割について盛り込むべき。 (4)避難所に備える資機材について、物品の種類や量、保管場所、調達等について誰がどのように決めているのか。 (5)災害種別及び避難所ごとのマニュアル作成や防災体制の強化のため、災害時応援協定を結んでいる民間事業者との訓練や連絡会議を定期的に行うべき。	市長 教育長 市長 教育長 市長 市長	
11	1 空き家対策について 2 復興事業を終えたとされる閑上地区のまちの在り方と支援について	<p style="text-align: right;">1番 菊地 昌夫</p> (1)市内の空き家の実態について、現時点においてどのように把握されているのか伺う。 (2)空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「空き家等対策計画」の策定と「空き家等対策協議会」を設立すべきと考えるがどうか。 (3)「空き家バンク制度」を創設すべきと考えるがどうか。 (1)復興事業を終えたとされる閑上地区の持続的な発展のため、この先の課題をどのように捉えているか伺う。 (2)今後の閑上地区の公共・公益施設の予定と、閑上地区の交通機関の利便性向上について伺う。 (3)今後もコミュニティー形成支援や見守りのため、行政としてのバックアップが必要と考えるがどうか。 (4)閑上東地区も含めた閑上地区の交通事故防止のための総点検を行い、危険箇所に対する安全策を講ずるべきと考えるがどうか。	市長 市長 市長 市長 市長 市長	